令和6年度指定管理者制度導入施設モニタリング結果

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【総合政策部】

施設名	市民体育館、別府体育館、大里体育館、大里総合グラウンド、 江南体育館、江南総合グラウンド、籠原体育館									
指定管理者名	公益財団法人　熊谷市スポーツ協会									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R2	64,394,000	R3	65,000,000	R4	66,000,000	R5	67,000,000	R6	67,000,000
所管課	スポーツタウン推進課									
総合評価	B									
全施設の利用者数（人）	R4	235,207	R5	239,954	R6	255,048				
全体育館の稼働率(%)	R4	67.8	R5	75.0	R6	70.8				
全グラウンドの稼働率(%)	R4	30.9	R5	35.6	R6	37.4				
総合コメント	新型コロナウイルス感染症による施設利用制限が解除され2年目となり、全体育施設利用者総数が255,048人と令和5年度と比較し増加しており、各施設の利用も活発になってきているように思われる。 各施設において段階的に耐震化を含めた改修工事等を検討・実施しているものの、築年数を経過した施設が多いため、随時細かな修繕対応が必要な状況であり、令和7年3月末をもって、休館となった別府体育館で活動していた団体の他施設への移行調整等と併せて柔軟かつ丁寧な対応をしていることが伺える。 指定管理者による自己評価では、総合評価点数が100点満点中88.3点と前年比0.2ポイントの上昇となっている。各施設に意見箱を設置し、利用者からの要望等を受け付け、各施設の運用に生かされていることから、利用者からも好評が得られているように思われる。 引き続き、利用者のニーズを把握しつつ、極力それに沿った施設運営に努めていただき、公益財団法人としての地域スポーツの振興の役割を担っていただきたい。									

【市民部】

施設名	市民活動支援センター									
指定管理者名	特定非営利活動法人NPOくまがや									
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間）									
指定管理料（円）	R4	12,700,000	R5	12,500,000	R6	12,600,000	R7	—	R8	—
所管課	市民活動推進課									
総合評価	B									
利用者の数の推移（人）	R4	12,742	R5	12,041	R6	12,250				
登録団体の数の推移（団体）	R4	285	R5	292	R6	300				
総合コメント	昨年度比で、利用者数、登録団体ともに増となった。 自主事業として、登録団体による講演会・講習会や外部講師を招き講演会を開催し、SNSによる情報発信等にも取り組んだ。 また、平等・公平な申請事務を行っており、利用者とのトラブルが発生しないよう配慮していた。 施設内は、利用者が使用しやすいように保たれており、管理運営についても、ローテーションにより業務に支障がないよう対応していた。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	コミュニティセンター										
指定管理者名	熊谷市社会福祉協議会										
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R2	12,556,000	R3	12,670,000	R4	12,823,000	R5	12,882,000	R6	12,969,000	
所管課	市民活動推進課										
総合評価	**B**										
利用件数の推移（件）	R4	1,362	R5	1,544	R6	1,610					
利用者の数の推移（人）	R4	9,915	R5	11,166	R6	11,124					
総合コメント	申請事務は平等・公平に行っており、利用者とのトラブルもない状況であった。 老朽施設であるが、不具合・故障等がみられる箇所の修繕を行い、利用者が使用しやすいように保たれており、管理運営についても、ローテーションにより適正に対応していた。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。										

施設名	大里ふれあいセンター										
指定管理者名	公益社団法人熊谷市シルバー人材センター										
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R5	8,160,000	R6	8,230,000	R7	8,370,000	R8	8,590,000	R9	8,650,000	
所管課	市民活動推進課										
総合評価	**B**										
利用件数の推移（件）	R4	269	R5	328	R6	352					
利用者の数の推移（人）	R4	2,347	R5	3,819	R6	4,330					
総合コメント	申請事務は平等・公平に行っており、利用者とのトラブルもない状況であった。 管理運営についても、ローテーションにより適正に対応していた。 個人情報の取扱いにも配慮しており、適正な水準を維持しているものと判断できる。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	葬斎施設									
指定管理者名	五輪・宮本・東京ワックスグループ									
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R6	83,381,804	R7	83,808,736	R8	84,497,875	R9	84,710,615	R10	85,179,215
所管課	市民課									
総合評価	B									
火葬件数（件）	R4	2,531	R5	2,517	R6	2,696				
式場利用状況（件）	R4	707	R5	713	R6	721				
総合コメント	新たな指定管理期間の初年度であったが、指定管理者は前回から引き続いており、蓄積されたノウハウを生かしたスムーズな施設運営であった。 主要な業務である火葬については、大型機械を操作する危険な作業であるが、事故なく運営することができた。 また、斎場業務についても、長年の懸案事項であった和室に椅子とテーブルを導入したことで、利用者の利便の向上に繋げることができたことなど、総合的に管理者として適正な水準を維持している。									

施設名	健康スポーツセンター									
指定管理者名	株式会社ジェイレック									
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	44,200,000	R4	44,200,000	R5	44,200,000	R6	44,200,000	R7	44,200,000
所管課	健康づくり課									
総合評価	B									
施設利用者数（人）	R4	73,447	R5	81,543	R6	92,528				
施設利用収入（円）	R4	23,727,330	R5	26,788,680	R6	30,472,970				
総合コメント	窓口やアンケート調査における利用者からの意見に柔軟に対応し、サービス向上に努めた。 また、自主事業として各種教室を積極的に実施するなど、施設利用者は前年度比約13.5%の増となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準を上回っている。 清掃状況に関する意見にも柔軟に対応し、設備の定期点検を年間計画に基づき適切に実施した（現地確認及び報告書類の確認による。）。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【福祉部】

施設名	老人福祉センター別府荘									
指定管理者名	社会福祉法人　熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年間）									
指定管理料（円）	R5	24,886,000	R6	25,114,000	R7	－	R8	－	R9	－
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R4	13,391	R5	15,638	R6	16,147				
1日平均利用者数（人）	R4	46	R5	54	R6	56				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者は、536人の増となった。 老朽化が進み、令和6年度は食堂の空調の室外機が壊れてしまったが、指定管理者が新しくエアコンを設置し、利用者の過ごしやすい空間の維持に努めている。 また、こまめに職員自ら清掃や修繕を行い、維持管理に努めている。 防災訓練を年2回実施したり、普通救命講座Ⅰを受講し、危機管理についても体制を整えている。									

施設名	老人福祉センター上之荘・ひかわ荘・江南荘									
指定管理者名	社会福祉法人　熊谷市社会福祉協議会									
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R5	90,351,000	R6	91,010,000	R7	91,817,000	R8	92,519,000	R9	93,303,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人） 【3施設合計】	R4	31,171	R5	49,333	R6	56,816				
1日平均利用者数（人） 【3施設合計】	R4	109	R5	168	R6	195				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者は上之荘3,500人、ひかわ荘2,846人、江南荘1,137人の増となった。 上之荘では外灯がつかなくなってしまったため、指定管理者が早急に対応し、修繕を行った。 また、上之荘で雨漏りによる天井の石膏ボードの落下があり、修繕が必要な状態が生じ、指定管理者と連携を取りながら継続して対応している。 防災訓練を年2回実施したり、普通救命講座Ⅰを受講し、危機管理についても体制を整えている。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	箱田高齢者・児童ふれあいセンター									
指定管理者名	公益社団法人　熊谷市シルバー人材センター									
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R5	12,300,000	R6	12,150,000	R7	12,330,000	R8	12,510,000	R9	12,710,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R4	2,395	R5	8,226	R6	11,210				
１日平均利用者数（人）	R4	32	R5	29	R6	39				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は2,984人の大幅増となった。 利用者のサービス向上のためロビーに本棚や掲示板を増設し、利用者の利便性の向上に努めた。 また、玄関ロビーに沸心古流の生け花を月3回のペースで展示し、施設イメージの向上に努めた。 自主事業として、世代間交流を行ったり、フレイル予防教室を行ったりしている。 児童館と合同の避難訓練を実施したり、消防法に基づき消防設備点検を実施したりと防災への意識啓発を図った。									

施設名	老人憩の家荒川荘									
指定管理者名	公益社団法人　熊谷市シルバー人材センター									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	1,937,000	R5	1,968,000	R6	2,000,000	R7	2,031,000	R8	2,064,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R4	1,598	R5	2,204	R6	1,206				
１日平均利用者数（人）	R4	5	R5	8	R6	4				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は998人の大幅減となった。一因として、地域の夏祭りの際に荒川荘を利用していたが、令和6年度は利用がなかった。 市民対象のフレイル予防教室と指導者研修会を毎月実施し、フレイル予防健康づくり教室の普及と指導者の育成を図った。 施設内外の維持管理に努めており、老朽化した施設ながら利用者が利用しやすいように努めている。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	老人憩の家平戸荘									
指定管理者名	熊谷市平戸自治会									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	1,790,000	R5	1,831,000	R6	1,831,000	R7	1,856,000	R8	1,892,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R4	1,960	R5	3,914	R6	2,874				
1日平均利用者数（人）	R4	7	R5	13	R6	10				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は1,040人の減となった。 9月に自主事業として「平戸マルシェ」を開催し、地域コミュニティ活動寄与しており、地域のコミュニティ施設としての役割をはたした。 毎日の清掃の外、定期的な除草剤の散布、植栽の剪定及び手入れなどを行い、快適・清潔で利用しやすい施設内外の環境整備のために配慮している。 市と協力しながら、指定管理者で自主的に管理運営を行っている。									

施設名	老人憩の家吉岡荘									
指定管理者名	有限会社　後藤衛生コンサルタント									
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	1,780,000	R4	1,800,000	R5	1,820,000	R6	1,840,000	R7	1,860,000
所管課	長寿いきがい課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R4	4,591	R5	4,752	R6	4,827				
1日平均利用者数（人）	R4	17	R4	18	R6	19				
総合コメント	年間を通じ、概ね適切に管理運営されていた。 昨年度比で利用者数は75人の増となった。 施設の広報活動、自主事業の企画などに積極的であり、老人憩の家3施設で最も利用者数が多い。 指定管理者で自主的に防犯・防火・防災の対策を充実させた危機管理マニュアルの徹底を図り、管理人の危機管理に関する知識向上、意識啓発を図った。 施設内は常に清潔に清掃されており、節電・省エネルギーにも努めている。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	障害福祉会館									
指定管理者名	特定非営利活動法人　熊谷市身体障害者福祉会									
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日（3年間）									
指定管理料（円）	R5	7,571,000	R6	7,571,000	R7	7,658,000	R8	-	R9	-
所管課	障害福祉課									
総合評価	**B**									
利用者数の推移（人）	R4	8,739	R5	11,835	R6	11,127				
利用料金の推移（円）	R4	155,030	R5	158,480	R6	123,040				
総合コメント	貸し館業務において、心身に障害のある方の利用が中心となること及びその他地域の活動の拠点としての役割を自覚し、年間を通して苦情もなく円滑に運営されていた。年間利用者数は。11,127人で、昨年度と同程度の利用状況であった（708人減少）。 施設は、建築から49年が経過して老朽化し、修繕の必要な箇所もあるが、適宜修繕を行い、施設の維持を図りつつ、適正に管理が行われている。 貸会議室等も常に清潔に保たれており、感染症対策も適切に行われていた。 また、会館が本市指定の「福祉避難所」であることから、自主的な備蓄用品の確保や施設入口には障害のある方向けの防災グッズの展示を行うなど、利用者へ防災に対しての広い啓発を行うなど、危機管理に対する意識も高かった。 その他指定管理者の経営基盤は安定しており、以上から総合的に適正な水準を維持していたと認められる。									

【産業振興部】

施設名	商工会館									
指定管理者名	熊谷商工会議所									
指定期間	令和6年4月1日から令和7年10月31日まで（2年7ヶ月）									
指定管理料（円）	R6	2,800,000	R7	2,100,000	R8	-	R9	-	R10	-
所管課	商業観光課									
総合評価	**B**									
会館利用件数（人）	R4	3,459	R5	3,274	R6	3,224				
使用料収入（円）	R4	4,814,305	R5	4,556,725	R6	4,580,370				
総合コメント	貸館業務について減免対象となる公的利用も多い中、利用件数を保ち、安定的な運営を行っている。 施設の老朽化が著しいが、定期的な保守点検や職員によって適宜点検が行われており、問題点を早急に発見し、解決するように努めている。 総合的に判断し、適切な水準を維持している。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	勤労青少年ホーム、熊谷勤労者体育センター、勤労会館									
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社									
指定期間	令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年間）									
指定管理料（円）	R5	31,516,000	R6	33,684,000	R7	－	R8	－	R9	－
所管課	企業活動支援課									
総合評価	B									
利用者数の推移（人） ※3館の合計	R4	62,906	R5	69,185	R6	61,558				
利用料金の推移（円） ※3館の合計	R4	4,732,110	R5	4,835,320	R6	3,461,230				
総合コメント	令和7年3月31日で施設が閉館のため令和5年度から令和6年度までの2年間の指定管理者である。 施設の利用者及び利用料金は、前年度と比較し減少したが、閉館に伴う冊子の発行や最後の開催となる勤労会館祭りでは520名の集客（前年度比約100名増）があり、利用者の思い出や記憶に残る事業展開がなされた。 施設の老朽化が著しかったが、適切に点検を実施し、問題点を早急に発見、解決に努めた。 自主事業の実施の際は市報での周知等の活用によって集客が図られており、参加者から好評を得ている。 総合的に判断し、適切な水準を維持している。									

【都市整備部】

施設名	熊谷運動公園									
指定管理者名	シンコースポーツ・熊谷ハートフルグループ・ジョンソンコントロールズ共同事業体									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	184,800,000	R5	182,118,245	R6	182,007,000	R7	184,800,000	R8	184,800,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用者数（人）	R4	230,542	R5	249,088	R6	277,017				
上記の内室内プールの 利用者数（人）	R4	40,348	R5	53,946	R6	59,550				
総合コメント	令和6年度は指定管理期間（5年間）の3年目に当たり、指定管理者制度導入後通算16年目であり、これまでの経験を活かした適正な施設の管理運営が行われていた。 利用率では、有料施設全体の利用者数が275,961人で前年度より約10%超増、利用料金収入は7%増と共に増加した。自主事業にも注力し、12,000人以上が来場するイベントを初め、多くの世代の方が来場するよう工夫を凝らした事業の実施や地域の方、埼玉武蔵ヒートベアーズと連携した事業の取組などにより、公園利用者数等もコロナ禍後増加している。潜在利用者にも身近に感じてもらい利用促進に取り組んでいると評価できる。 また、令和5年から市が実施している小学校のプール事業についても、専門知識を発揮し指導していることや、一般利用者へも適切に対応し順調に運営できている。 最後に、指定管理期間の4年目となる令和7年度は、これまで培ってきた経験をもとに、より安全、快適に利用いただけるよう施設設備の充実・維持管理にも引き続き注力してもらい、サービス向上に資する施設運営に期待したい。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	江南総合公園									
指定管理者名	特定非営利活動法人　グリーンアップ熊谷									
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R3	13,060,000	R4	13,060,000	R5	13,100,000	R6	13,240,000	R7	13,240,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用人数（人）	R4	24,087	R5	29,097	R6	27,735				
利用料収入（円）	R4	288,530	R5	377,670	R6	443,870				
総合コメント	指定管理者として3期目、令和6年度は指定管理期間（5年間）の4年目にあたり、これまでの経験を活かした適切かつ円滑な施設運営を行っていた。 公園利用者数は1,362人減少（前年度比：95.3%）したが、利用料金収入は66,200円増加（前年度比：117.5%）した。 巡回や声掛けを積極的に行い、利用者の方が気持ちよく公園を利用できるような施設運営ができていたと評価できる。									

施設名	妻沼運動公園,利根川総合運動公園,妻沼東運動公園,妻沼西第一公園, 妻沼西第二公園,妻沼西第1緑地,妻沼西第2緑地,妻沼西第3緑地, 妻沼西第4緑地,妻沼西第5緑地,別府沼公園									
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	105,098,000	R5	104,567,000	R6	104,632,000	R7	104,762,000	R8	104,741,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	B									
利用人数（人）	R4	84,610	R5	106,428	R6	114,253				
利用料収入（円）	R4	6,454,565	R5	6,525,790	R6	6,658,600				
総合コメント	指定管理3期目3年目であった本年度は、利用者数が昨対7,222人増、利用料金は昨対132,810円増となり、4年連続で昨年度の数字を上回ることができた。 施設の維持管理や受付等の接客は、仕様書に基づき適切に行われており、大きな事故やトラブル等もなかったので安心・安全な公園の運営に努めてもらった。 自主事業については、広報活動や新規のイベントの開催に尽力した結果からか、収入が昨対436,640円増となった。 光熱費等の高騰により、予算が圧迫している状況にあるが、適正な管理運営に向けて善処している。来年度以降も市民の健康増進と利用促進に向けて、引き続き本年度以上の数字を目指すとともに、利用者にとってより魅力を創出できる公園づくりに努めていただきたい。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	中央公園、熊谷荒川緑地、村岡荒川緑地、久下荒川緑地									
指定管理者名	グリーントライアングル熊谷									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)									
指定管理料(円)	R2	31,098,000	R3	31,578,000	R4	31,898,000	R5	32,388,000	R6	32,838,000
所管課	公園緑地課									
総合評価	**B**									
緑化センター利用人数（人）	R4	14,995	R5	18,010	R6	15,631				
荒川緑地利用人数（人）	R4	152,514	R5	276,898	R6	301,519				
総合コメント	指定管理2期5年目（最終年）であった本年度は、自主事業によるキッチンカーの出店、花の種配布事業、樹木に親しむ講座の開催等、積極的に魅力ある公園づくりや緑化推進事業を行った。 施設の利用状況は、荒川緑地が順調に増加している一方で、緑化センターの利用が低調であった。 令和7年度は、指定管理3期1年目となるが、公園のにぎわい創出、施設全体の利用者の増加に向けて、魅力ある公園づくりへ積極的に取り組むことを期待したい。									

【妻沼行政センター】

施設名	妻沼勤労福祉会館									
指定管理者名	くまがや市商工会									
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日(5年間)									
指定管理料(円)	R2	1,950,000	R3	1,950,000	R4	1,950,000	R5	1,950,000	R6	1,950,000
所管課	妻沼行政センター									
総合評価	**B**									
利用回数(回)［利用状況報告書より］	R4	286	R5	298	R6	255				
利用回数(人)［利用状況報告書より］	R4	3,944	R5	6,218	R6	5,556				
総合コメント	指定管理者は当該施設内に事務所を構えており、職員の日常清掃等による衛生管理、日常点検による安全管理や効率的な運営を行って利用者の利用性向上に努めている。 また、利用者数を増加させるため商店街の振興や観光振興に関わる研修会、勤労者を対象とする研修等の商工会自主事業も開催している。 指定管理者が適切な体制で運営し対応しているため、利用者からの苦情等についてはない。									

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

【教育委員会】

施設名	熊谷文化創造館、大里生涯学習センター、江南総合文化会館										
指定管理者名	公益財団法人　熊谷市文化振興財団										
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R2	222,520,000	R3	223,830,000	R4	226,400,000	R5	228,880,000	R6	231,370,000	
所管課	社会教育課										
総合評価	B										
3館自主事業入場者数（人）	R4	11,834	R5	17,176	R6	15,852					
施設利用料金収入（円）	R4	35,119,170	R5	40,239,580	R6	43,093,520					
総合コメント	3館施設とも確実な管理運営がなされており、適切に貸館業務及び自主事業を実施した。 施設利用料金収入は、コロナ禍前の令和元年度とほぼ同額に戻った。自主事業は、20公演を実施し、そのうち9公演が完売であったことは評価できる。 施設利用者に対しては、親切丁寧な利用案内を行い、利用者サービスの向上に努め、施設・設備の維持管理、清掃等も適切に行った。今後も、利用者が安心・快適に利用できるよう、適切な管理運営がなされることを望む。										

施設名	スポーツ･文化村										
指定管理者名	アイル・オーエンスグループ										
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）										
指定管理料（円）	R2	87,400,000	R3	87,400,000	R4	87,400,000	R5	87,400,000	R6	87,400,000	
所管課	社会教育課										
総合評価	B										
施設利用者数（人）	R4	224,203	R5	200,266	R6	212,101					
自主事業参加者数（人）	R4	1,854	R4	2,671	R5	2,015					
総合コメント	年度を通して適正かつ効率的に管理運営がなされた。また公平公正な施設利用の促進に努めた。 施設利用は、令和5年度と比較し、利用者数は11,835人増加し212,101人、利用件数は444件増加し13,302件となった。また、コロナ禍前の令和元年度との比較では、利用者数は12,022人下回っているものの、利用件数においては1,633件と増加しており、施設の稼働としてはコロナ禍前と同水準と認められる。 施設の運営については、利用件数が増える中、窓口での対応を丁寧・迅速に行い、利用者の利便性向上に努めた。 施設管理については、保守点検・設備修繕を滞りなく実施し、清掃においても常に良好な状態に保っており、利用者の安心安全に努めた。										

◎ 総合評価について
A・・・・・適正な水準を上回り、非常に評価できる。
B・・・・・適正な水準を維持している。
C・・・・・改善が必要な状態だったが、現在は適正な水準を維持している。
D・・・・・改善が必要

施設名	荻野吟子記念館									
指定管理者名	特定非営利活動法人　めぬまガイドボランティア阿うんの会									
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）									
指定管理料（円）	R4	3,790,000円	R5	3,850,000円	R6	3,940,000円	R7	4,020,000円	R8	4,100,000円
所管課	妻沼中央公民館									
総合評価	B									
利用者数の推移（人）	R4	5,420	R5	6,076	R6	5,740				
団体数（団体）	R4	56	R5	57	R6	50				
利用者数のうち団体人数（人）	R4	1,206	R5	1,257	R6	1,125				
開館日数（日）	R4	309	R5	309	R6	308				
1日当たりの来館者数（人）	R4	17.54	R5	19.66	R6	18.64				
総合コメント	令和6年度は、指定管理2回目の3年目であり、ガイドや館の管理等には実績があるのでスムースに進められている。また、新人研修会やガイド内容の向上及び館の管理等の統一を図るため、定例打合せ会議を毎月休館日に行っており、共通の認識が図られている。 館内外の環境美化にも努め、休館日に清掃作業や植栽を行っている。 団体の申込みがある場合は、説明者の人数を増やして対応している。 定期的に吟子紙芝居班（女性会員）が読み合わせ会を行っている。 荻野吟子関連イベントの企画、新たなチラシを作成し市内施設や近隣市の施設に配布するなど、多くの人に同氏を広める努力を積極的に行っている。									